

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第32号
2022年12月22日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 大友靖子

『掛田驛』駅舎がリニューアルされました。掛田駅はチン電車(チン電車)の愛称で呼ばれ、私達地域住民の足として親しまれた路面電車、もつと古くは掛田の街中を走行し、川俣まで走っていた軽便鉄道の駅として人と文化、物資を運んで来てくれた掛田町の玄関でありました。当時の駅前通りには町内自慢の商店名が入ったアーチ型の大きな看板が高く掲げられ、書籍、文具、プラモデル、地球儀、トランプと何でも揃う「文化堂」、大きな荷物も運んでいた運送屋、菓子処の「岩城屋」靴屋さん、パチンコ店、タクシーが数台常駐していて、もちろん「桑島食堂」「春富士」レコード屋さんがあり多くの人で賑わっていました。

話を戻します。昭和47年、路面電車が廃止された後も福島交通バス発着所『掛田驛』として多くの霊山町民はお世話になってきました。ところが今年、夏の終わりのある日突然、工事の手が入り「駅舎がなくなってしまうのか?」と、心配したのですが、11月16日レトロ感ある外観そのままに、トイレも新しくなりました。福島交通福島支社、乗合営業課長の八巻 健さんの話によると、「現段階では詳しく話せませんが駅舎と周辺を使いいろいろな仕掛けを考えています。」とのこと。「エッ!?何がどのようになるんですか?」「今回はここまでです。」楽しみです。何か呼びかけがあった時は地域皆で協力していきたいですね。『掛田驛』から目が離せません。



昭和30年代の駅前



旧掛田駅



新掛田駅

福島交通「掛田驛」



霊山中学校1年1組
清掃ボランティア体験
霊山中学校1年1組 菅野 智裕



僕達1年1組は11月1日(火) 霊山町体育館でのボランティア清掃に参加しました。小さい頃からお世話になった施設なのでより一層きれいにしたいと思いました。僕は体育館の玄関掃除を担当しました。活動をしていく中できれいになった様子を見ていた管理者さん達の笑顔が印象に残りました。その笑顔に僕は達成感やもう一度やりたいという気持ちを持ちました。僕は誰かに喜んでもらえることがこんなに嬉しいことなのかと改めて思いました。

令和4年度
伊達市市政ふれあい懇談会

去る11月10日(木) 18時30分より霊山中央交流館にて伊達市市政ふれあい懇談会が開催されました。伊達市の5つのまちづくり
①安心、安全なまち
②子育て教育の町のまち
③移住・定住推進のまち
④健康・福祉のまち
⑤農林業・商工業・観光のまち
のスローガンを掲げて来場者約30名と伊達市長はじめ担当者として活発な意見交換がなされました。



徳が森花だより

サザンカ(山茶花)
徳が森には駐車場と不動明王奥休憩所入口に咲いています。サザンカは、ツバキ科ツバキ属の一種で、日本の固有種です。基本的な性質はツバキと似ていますが、以下の点で区別されます。ツバキは早春から春にかけて咲くのに対し、サザンカの野生種は10月から12月

イベントのお知らせ

- 年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動
・令和4年12月10日から令和5年1月7日まで29日間
・スローガン: くらいとき じぶんをアピール ぴっかぴか
- こども食堂
・12月24日(土) 午前11時30分から 霊山中央交流館
- 伊達市二十歳のつどい(成人式)
・1月8日(日) 午前10時30分から 保原町体育館



に白い花が開花し、晩秋の花として親しまれてきました。徳が森のサザンカは品種不明ですが、野生種では無さそうです。(徳が森環境整備プロジェクトチーム 森久保 律子)

編集後記

いよいよ今年も師走となり、今回も、多くの皆様のご協力により発行出来ますことに感謝しております。自治協議会も掛田の問題点を取り上げ前向きに各部会が行動しており、楽しい、住みやすい街へと皆さんと動き出しております。「掛田の広場」はそうした内容をお知らせし、皆さんの考えも取り上げ、議論して参りたいと思っております。投稿もよろしくお願ひします。皆さんの意見をお聞きし、記事面も活性化させて参ります。来年も多くの皆さんが参加する「協働のまちづくり」をよろしくお願ひします。良いお年をお迎えください。

コラム

先人たちが築き、残してきた里山。古城山・桜の名所「ちやうすやま」は、子供時代は、毎日の遊び場だった。また桜の季節には奥北一円から花見・観桜会で賑わった。歴史的には伊達家の騒動「天文の乱」の戦場になり、また地元の文人の歌碑も残されている由緒ある里山「茶白山」なのですが、いま荒れ果てております。特に松の原木が危ない。松食い虫に次々侵され茶色の木に変わり果て、又桜の木は蔓に巻かれ悲鳴を上げております。長い間、この地域を見守ってきた里山は、掛田のシンボル「茶白山」です。後世に大事に大事に残さなければならぬと思っております。

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp



第50回霊山町文化祭

去る11月5日、6日に霊山中央交流館と霊山町体育館に於いて第50回霊山町文化祭が開催されました。コロナ感染防止対策を行い、霊山三育認定こども園と認定こども園神愛幼稚園の園児によるオーブニングセレモニーを3年ぶりに開催することができました。園児の立派な演奏を見ようと沢山の観客が来場しました。芸能発表の部でも3年ぶりのコーラス発表に続いて、伊達市楽友協会との共演で伊達市歌になっているオラトリオの一部を聴かせて頂きました。日本舞踊、フラダンス、民謡の発表と観客を魅了しました。

展示部では、生け花、陶芸、日本画が来場者の足を止めていました。



米寿記念品の贈呈

今年も残念ながら敬老会は開催出来ませんでした。

せめて米寿の方(昭和10年1月1日〜12月31日生まれ)には記念品を贈呈したいと自宅へ訪問して手渡しました。お元気な方が多く、日本舞踊、野菜作り、ゴルフ、脚が不自由でも杖を使い散歩されているなど私達も見習いたいと思う方ばかりでした。

(掛田婦人会 渡辺 京子)

環境防災部会

「交流館に植栽」

10月26日(水)午前10時から自治会役員及び環境防災部会の方々の協力により、交流館周辺の植え込みやプランターに植栽を行いました。

今回は、色とりどりのパンジー50株、チューリップ50球が楽しめます。

球根、苗は伊達市の「緑化環境整備事業」の一環として毎年寄贈されています。

(環境防災部会長 森久保 操)

社会教育部会

「第3回映画祭の開催」

掛田自治協議会映画祭も今年で3回目になりました。

コロナウイルス感染対策をとり、10月15日(土)に開催され77名(午前38名、午後39名)の方が鑑賞されました。

上映作品は「ディア・ドクター」で中山間地域医療の現状で少子高齢化社会が進む医療の苦悩を描いた作品でした。出演者は笑福亭鶴瓶・瑛太・香川照之・八千草薫・井川遥・余貴美子の方々、楽しくて笑える演出で心に残る映画でした。

映画終了後に抽選会も行われ、大当たり賞と参加賞のいずれかが全員に抽選で配られ楽しいひと時を過ごしました。

(社会教育部会副会長 小松田 道雄)



☆テイクアウトのお弁当70食はあっという間に完売！
イトインで芋煮汁提供



☆旬の野菜たっぷりの体に優しい10品のおかずと芋煮汁、りんごとサツマイモの蒸しパン、柿

未来へつなぐ子ども食堂

4月から月1回のペースで開催している子ども食堂・お陰様で、地域の皆様のご支援・ご協力で開催日には販売前から並んでくださる方もいて、嬉しい限りです。

ただし残念なのは、中高年の方が多い反面、若い方の、特に学生の方の利用が少ない事です。

ひきな炒りやイカ人参など、伊達の郷土食などメニューに加えて、若い方に関心を持ってもらえたらとの思いと、中高年の方には親しんだ味を楽しんでいただけたらとの思いで作っております。

今はコロナで、お弁当をテイクアウトで提供しておりますが、近い将来は名前の通り食堂形式で地域の皆様が大人・子ども問わずにワイワイ集まって食べる事のできる交流の場を作っていけたらと思っております。

資源回収について

長年お世話になっている資源回収の方法が、業者さんの都合で各地区を収集するやりかたではなく、一か所に集めることになりました。

詳細については決まりしだいお知らせします。掛田の皆様には何かとお世話になります。これからもよろしくお問い合わせします。

(掛田婦人会長 八島 良子)

「おいでよー子ども食堂へ」

【今後の予定】

☆日時：令和5年1月28日(土)
午前11時半〜午後13時半

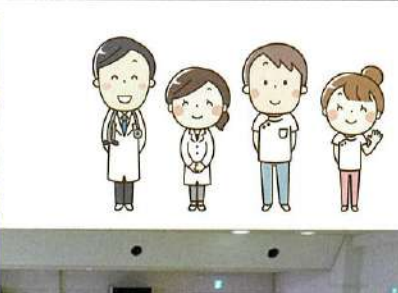
令和5年2月25日(土)
午前11時半〜午後13時半

令和5年3月25日(土)
午前11時半〜午後13時半

☆場所：霊山中央交流館

☆ごはん代
大人300円
子ども(高校生まで)100円
未就学児無料

☆子ども食堂は地域の皆さん、どなたでもご利用いただけます。
(りょうぜんマルシェ実行委員会 佐々木 和子)



健康福祉部会

「はつらつ教室の活動」

9月は霊山町文化祭の展示向けのリース作りに取り組みました。

クリスマス・リースのみならずオールシーズン用に制作された方も多くありました。紙紐を巻いたものに思いおもいに松ぼっくりやシダー・ローズ(ヒマラヤ杉の実)、ブリボン、ボンボン等をグルーガンで固定して完成しました。見事な出来映えで文化祭において特別賞を受賞する榮譽に輝きました。事前にスタッフ一同が半日勉強会を開いたことが功を奏したと思われまます。

10月21日には27名の参加者を得て移動学習を実施しました。

南相馬市の国の無形文化財に指定されている「野馬追」博物館を見学し、銘醸館(旧松本酒醸造)において素敵な庭を眺めながら新鮮な海産物お膳に舌づつみ、食後には明治・大正・昭和蔵を見学しました。

地震で不通となっていた海岸線が移動学習前日に開通したばかりの



健康福祉部会

「はつらつ教室の活動」

9月29日から10月1日にかけて、東京藝術大学院生6名がこの掛田町を訪れました。掛田の活性化のお手伝いのため、その下見に来たものです。掛田の商店を見学して、お店の人と懇談したり、農家へもお邪魔して、ブドウ、柿、あんぼ柿などの生産状況を見学しながらお話しを聞きました。キュウリの初収穫を体験し、そのおいしさに感激していました。

午後からは「やしま工房」で和紙製作工程を見たり、機織りを体験しました。夜には霊山中央交流館で掛田自治協議会の皆さんと、会食しながら交流しました。

霊山太鼓も登場し演奏の見学だけでなく、太鼓も叩いて新たな体験をしていました。

今後Zoomミーティングで両者の意見交換をしながら、掛田の活性化策を打ち出していきます。皆様期待しながらご意見をお寄せください。

(地域づくり部会長 八島 豊吉)



健康福祉部会

「はつらつ教室の活動」

9月は霊山町文化祭の展示向けのリース作りに取り組みました。

クリスマス・リースのみならずオールシーズン用に制作された方も多くありました。紙紐を巻いたものに思いおもいに松ぼっくりやシダー・ローズ(ヒマラヤ杉の実)、ブリボン、ボンボン等をグルーガンで固定して完成しました。見事な出来映えで文化祭において特別賞を受賞する榮譽に輝きました。事前にスタッフ一同が半日勉強会を開いたことが功を奏したと思われまます。

10月21日には27名の参加者を得て移動学習を実施しました。

南相馬市の国の無形文化財に指定されている「野馬追」博物館を見学し、銘醸館(旧松本酒醸造)において素敵な庭を眺めながら新鮮な海産物お膳に舌づつみ、食後には明治・大正・昭和蔵を見学しました。

地震で不通となっていた海岸線が移動学習前日に開通したばかりの

地域づくり部会

「東京の学生掛田に現る」

9月29日から10月1日にかけて、東京藝術大学院生6名がこの掛田町を訪れました。掛田の活性化のお手伝いのため、その下見に来たものです。掛田の商店を見学して、お店の人と懇談したり、農家へもお邪魔して、ブドウ、柿、あんぼ柿などの生産状況を見学しながらお話しを聞きました。キュウリの初収穫を体験し、そのおいしさに感激していました。

午後からは「やしま工房」で和紙製作工程を見たり、機織りを体験しました。夜には霊山中央交流館で掛田自治協議会の皆さんと、会食しながら交流しました。

霊山太鼓も登場し演奏の見学だけでなく、太鼓も叩いて新たな体験をしていました。

今後Zoomミーティングで両者の意見交換をしながら、掛田の活性化策を打ち出していきます。皆様期待しながらご意見をお寄せください。

(地域づくり部会長 八島 豊吉)

「第3回映画祭の開催」

掛田自治協議会映画祭も今年で3回目になりました。

コロナウイルス感染対策をとり、10月15日(土)に開催され77名(午前38名、午後39名)の方が鑑賞されました。

上映作品は「ディア・ドクター」で中山間地域医療の現状で少子高齢化社会が進む医療の苦悩を描いた作品でした。出演者は笑福亭鶴瓶・瑛太・香川照之・八千草薫・井川遥・余貴美子の方々、楽しくて笑える演出で心に残る映画でした。

映画終了後に抽選会も行われ、大当たり賞と参加賞のいずれかが全員に抽選で配られ楽しいひと時を過ごしました。

(社会教育部会副会長 小松田 道雄)



前列6名が学生たち

健康福祉部会

「はつらつ教室の活動」

9月は霊山町文化祭の展示向けのリース作りに取り組みました。

クリスマス・リースのみならずオールシーズン用に制作された方も多くありました。紙紐を巻いたものに思いおもいに松ぼっくりやシダー・ローズ(ヒマラヤ杉の実)、ブリボン、ボンボン等をグルーガンで固定して完成しました。見事な出来映えで文化祭において特別賞を受賞する榮譽に輝きました。事前にスタッフ一同が半日勉強会を開いたことが功を奏したと思われまます。

10月21日には27名の参加者を得て移動学習を実施しました。

南相馬市の国の無形文化財に指定されている「野馬追」博物館を見学し、銘醸館(旧松本酒醸造)において素敵な庭を眺めながら新鮮な海産物お膳に舌づつみ、食後には明治・大正・昭和蔵を見学しました。

地震で不通となっていた海岸線が移動学習前日に開通したばかりの

「第3回映画祭の開催」

掛田自治協議会映画祭も今年で3回目になりました。

コロナウイルス感染対策をとり、10月15日(土)に開催され77名(午前38名、午後39名)の方が鑑賞されました。

上映作品は「ディア・ドクター」で中山間地域医療の現状で少子高齢化社会が進む医療の苦悩を描いた作品でした。出演者は笑福亭鶴瓶・瑛太・香川照之・八千草薫・井川遥・余貴美子の方々、楽しくて笑える演出で心に残る映画でした。

映画終了後に抽選会も行われ、大当たり賞と参加賞のいずれかが全員に抽選で配られ楽しいひと時を過ごしました。

(社会教育部会副会長 小松田 道雄)



野馬追博物館にて